

2023年3月期の取り組み



今年度における当社グループの重点的な取り組みについてご説明します。



オンライン学習環境の強化・充実 TAC

【オンライン学習環境の強化(「WEB SCHOOL」の機能拡充)】



機能を追加

2. ③「受講予定日」の項目で、講義の受講予定日を入力します。

▼パソコン版

▼スマートフォン版

①表示される講義の順番を「科目別順」「配信日程順」で切り替えることができます

②カレンダーより日付と時間を選択します。

③選択した日時を保存して、受講予定日を確定させます。

④入力をキャンセルします。

⑤配信日をコピーして、受講予定日に入力します。※時間は「00:00」でセットされますので、改めて選択ください。

⑥入力内容をクリアします。

※画面は開発中のものです。

問題・解説イメージ①

基本講義 第1回

①「復習したい」：復習したい問題にチェックを入れます。チェックを入れると成績表示のページにも反映されます。

②「最初から問題を解く」：問題で1から順番に解いています。解答を終えると採点結果が表示されます。

③「採点結果」：得点履歴などを表示、タブで「解答履歴」の表示と切替可能。

④「最新の結果」：一番最後に採点結果の表示に変わった結果を表示します。得点は合格点に達しているか「合格!!」「残念!!」の表示に切り替わります。偏差値・平均点は全受講生の最新の採点結果をもとに算出します。

⑤「導出試験」：運送部からの得点と正解率の推移を合格ラインとともに表示します。

成績表示イメージ①

①「復習したい問題を解く」

②「最初から問題を解く」

③「採点結果」

④「最新の結果」

⑤「導出試験」

情報提供: 発信する情報の拡充

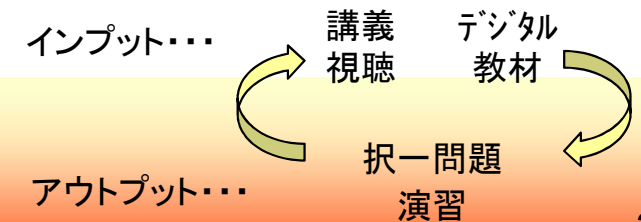
得られる情報が少なくなりがちな通信受講生に向けて、講座情報や試験関連情報その他の情報提供を強化

セルフ学習: 「スケジュール」機能

通信受講生の「いつでも受講可」というメリットを生かしつつ、学習スケジュールを登録することで、あらかじめ決まったスケジュールに沿って進んでいく「教室講義」と同様のスケジュール管理を体系的に行う機能
→効率良く学習し、無理なく知識を定着させていくことが可能

反復学習: 「択一問題演習」機能

高い学習効果を得るために必要なインプットとアウトプットが「WEBスクール」内で完結

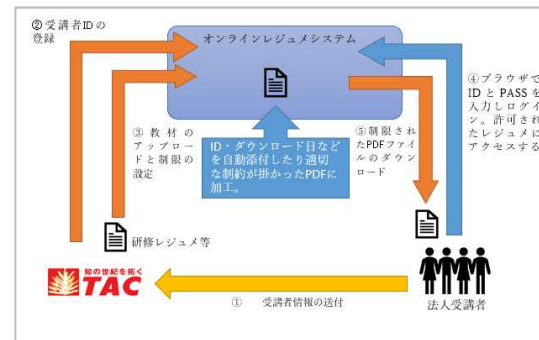
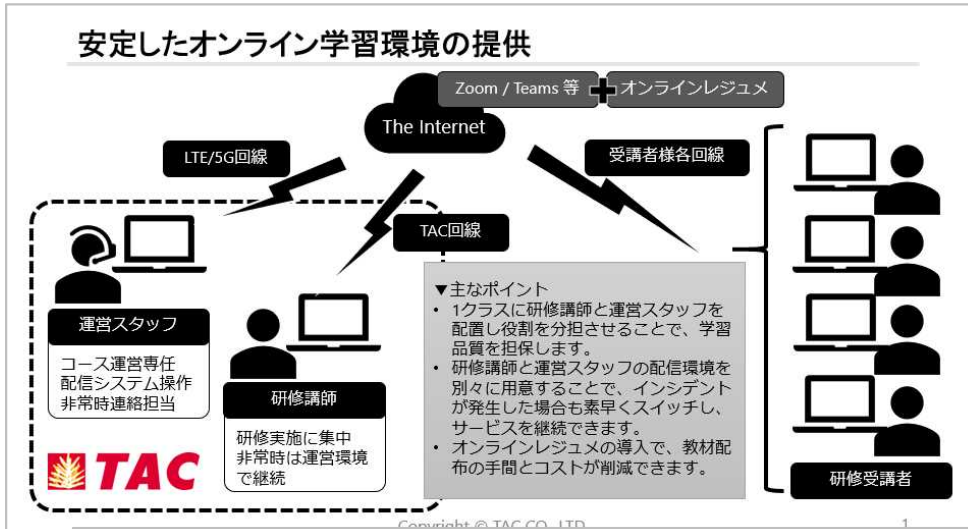




オンライン研修の整備

TAC

【法人向け研修における多様な受講方法の整備】



【オンライン上で完結】

・WEB会議システム（Zoom、Teamsなど）及びその他のツールを駆使し、オンライン上で研修受講に関連するサービスを提供

受講場所を選ばず、チーム演習も可で、学習効果向上に寄与

受講者（従業員）の学習効果向上、対面型研修と違い準備等の手間が少ない

（受講者） （法人）

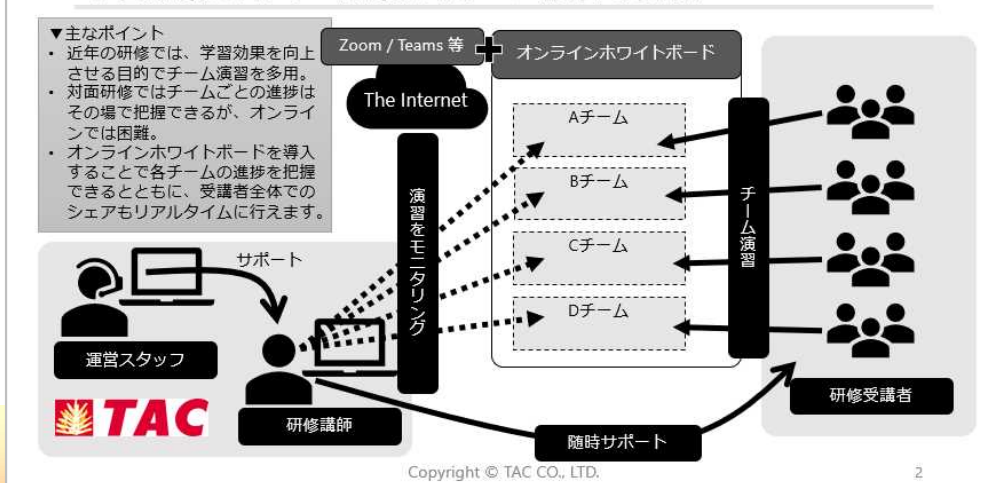


win – win – win
の関係を構築

（当社）

法人及び受講者の満足度向上、
新規研修の受注

学習効果の向上 ~効果的なチーム演習の実現~

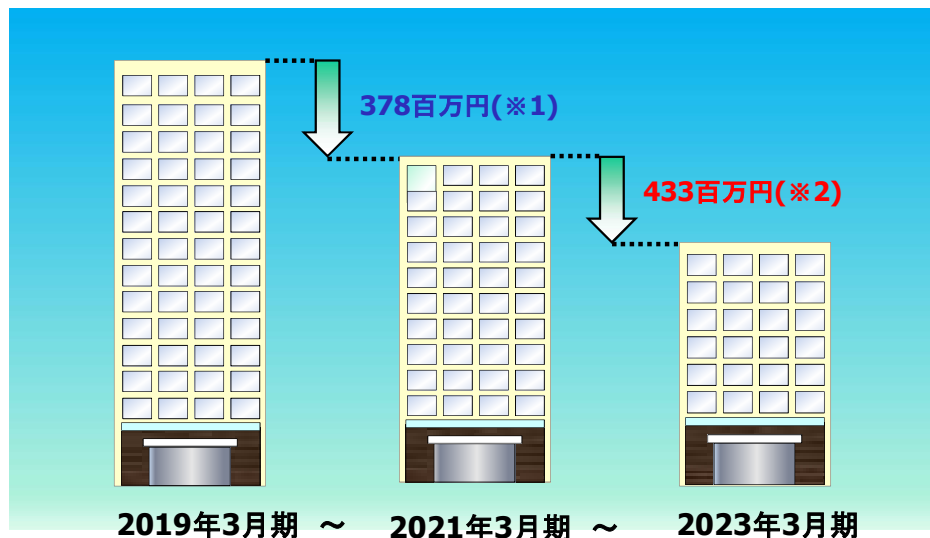
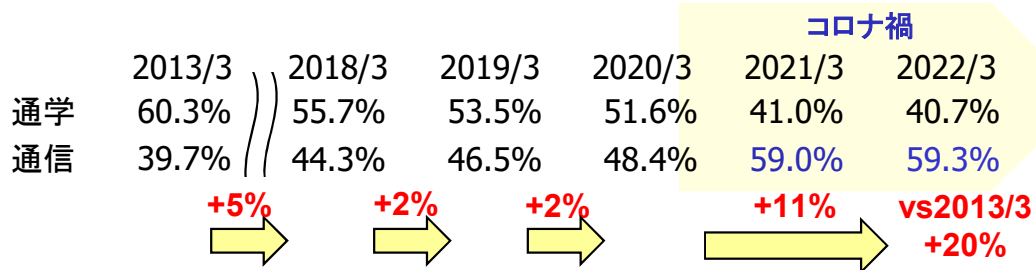




新たな売上獲得及びコストコントロール **TAC**

【オンライン受講の増加に伴う直営校の床面積の適正化】

- ・従来、通学:通信=6.5~6.0 : 3.5~4.0 で推移していたが、ITの発達や生活環境の多様化により通信の割合が徐々に増加
- ・コロナ禍を契機に通信割合の上昇が加速



※1 移転・減床工事が完了した校舎の減床の効果が1年間寄与した場合の賃借料削減額

※2 来期以降、移転・減床工事を行う予定の校舎において、減床の効果が1年間寄与した場合の賃借料削減額

(※1、2ともに、2019年3月期の賃借料をベースに算出)

【高等学校商業科検定教科書】

- ・2021/3期より検定教科書の分野に参入
- ・既刊の「簿記」「ビジネス基礎」に続き、「財務会計I」「原価計算」を発刊
- ・2023.4月～商業高校で使用
- ・新学習指導要領対応

(財務会計I)



(原価計算)



【人材紹介事業の強化】

- ・コロナ禍における人材の流動性の低下は、徐々に回復
- ・コロナ禍にいて転職を様子見していた層の動き出し傾向
- ・修了考査合格後の若手公認会計士の転職ニーズ及び採用側からの人材ニーズをタイムリーにキャッチアップ
- ・専門コンサルタントの増員